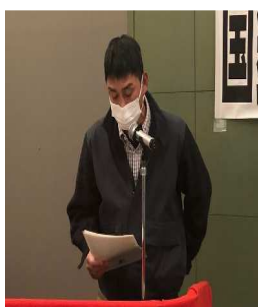


各委員からの発言



博多 香田委員

組織拡大について これまでの取り組みに間違いはないと思うので、引き続き活動をお願いしたい。個人的には会社との交渉に入って、労働者の代表として発言しなくてはならないという自覚が生まれてきた。会社の施策に対し無関心を装うもの、不満があっても自ら行動せず人任せになっている人も多い。そうした人達に対して、正常な感覚に戻していくためにはどうすればよいか。自分としては、これまで通り、教宣活動を強化し、それを通して今後も奮闘していきたいと考えている。



北九 糸山委員

効率化について 博多駅のホーム要員廃止により、8〜9両編成の長い車両の対応について安全面を危惧している。無人駅の増大により駅構内の秩序、トラブルなどの心配や日豊線の無人化される駅に、4つ高校が集中している。定期の販売等どうするのか。大幅なサービス低下となる。

小倉運転区では、要員不足で年休が取れない。日によっては指導2名が乗務するともきもある。臨時列車など利用率が極端に悪い列車については運用を再考すべきだ。

小倉駅のホーム運転室閉鎖問題では、3組合による抗議をおこなった。共通する問題では歩調を合わせていく必要がある。今後も一致する要求で奮闘していく。



佐賀 久本委員

佐賀でもコロナ感染が蔓延し、2名が濃厚接触者となり休業して、年休が取れない。感染対策として全

車扱いを要求しているが未だなっていない。駅の無人化が進み乗務員の負担が大きくなっている。3月から小城市で切符の販売がなくなり学生は定期券の購入に困ることになる。また東多久・中多久・岩屋駅の販売機を撤去し、博多〜小倉間の特急券発売に利用するため2月18日撤去する方針である。

DC行路は2名の減となり仕事が年々きつくなっている。嘱託で給料も安いというこれではやっていけない。内部留保金はあるのに株主だけに使うやり方は許せない。喫緊の課題である組織拡大に全力をあげたい。



長崎 上之濱委員

国鉄原爆慰霊碑の移転について 昨年12月24日に会社から引き渡しがあり、無事に終了した。九州本部と相談しながら今後の式典を計画していきたい。

組織拡大について 地区本部も組織的には厳しい状

況となっているが分会機能を活性化するためには、人の集まる場を作り、職場の問題点を明らかにして、国労が中心になって運動を強化することである。若手からボーンズの低額回答もあって不満の声が上がっている。レクなどに誘い、引き続き拡大に向けて頑張りたい。

ダイヤ修正であるが、長崎では1月10〜11日で集会を開き要求集約してきた。効率化には、要求で18項目、ワンマン拡大では10項目、職場環境では14項目を提出した。支社では駅体制の見直しで駅員が終日不在となる駅が新たに長崎線で3駅、大村線で1駅となり、また切符窓口を廃止する駅が4駅となっている。さらに、2月18日より九州で16の駅の簡易券売機の利用が停止 撤去が予定されている。会社の都合で切符を買いたくても買うことができない状況となる。

長崎佐世保間にYC1が導入されたが、車内秩序の維持や運賃通脱対策など全くされていない。職場の環境を変えるためにもまずは1名の拡大に向け奮闘したい。



博多 岩田委員

職場の問題点を報告し発言としたい。香椎線では、昨年営業車による自動運転の実験がされている。香椎〜西戸崎間であったが、3月から香椎〜宇美間と拡大される。自動運転は常に非常ブレーキSWに手を添えて前方を注視する必要があるためとても気を使い普段より疲れるとよく聞く。運転士ではなく係員が乗務となるにはまだまだ皆さんの課題があると思う。

また香椎線では2月から乗務員による車イス介助の実験も始まった。事前連絡無しで行われ、駅によっては利用できない所もある。対応によって信号違反など起こさばならない。筑肥線6両ワンマン実施や博多駅のホーム要員廃止な乗務員に負担増となっている。安全について職場から要求を強化する必要がある。